

投資事業評価調書（新規）

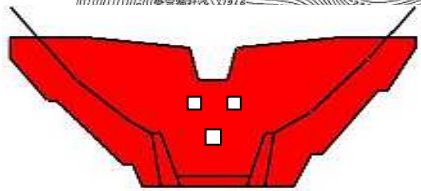
部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 よこまつ 横松川	たつの市新宮町 のうじ 能地	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
たつの市新宮町能地				H22	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 10.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 (流域の状況)	・(一)揖保川水系栗栖川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
(保全対象等の状況)	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約3ha(長さ200m、最大幅350m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家17戸、(一)栗栖川、JR姫新線(約350m)、市道(約250m)</u>				
(2)有効性・効率性 (効果)	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成20年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
(事業執行環境)	・市から要望書が提出されるなど、地元要望も強く、またえん堤設置位置付近に広い作業ヤードを確保することができ、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・国道やJR等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・人家とともにJRなど重要な公共施設の保全を図る必要があるため、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

よこまつがわ
横 松 川
[た つ の 市]



計 画 概 略 図
縮 尺 1 : 5 , 0 0 0

凡 例	
	事業実施箇所
	土石流氾濫区域
	保全人家等



えん堤工 H = 10.0m、L = 50.0m

